

## 第1回養徳学舎活用検討会 議事概要

- (1) 日時：令和6年10月22日（火）11時00分～12時10分
- (2) 場所：奈良県東京事務所又はWeb参加
- (3) 出席者：○養徳学舎活用検討会委員  
朝倉 祐介（Web参加）、植嶋 平治、中山 満子（Web参加）、  
原田 遼太郎、藤村 聡、別所 史、安本 直史（五十音順・敬称略）  
○奈良県  
山下知事（冒頭挨拶のみ）  
川上知事公室長  
箕輪東京事務所長  
事務局（奈良県東京事務所）
- (4) 概要

### 1 開会

#### 【山下知事より挨拶】

- ・私の問題意識としては、養徳学舎は男子寮として大正から続く歴史ある寮だが、東京圏への女子の進学者数が増加している中、このまま男子だけの受け入れでいいのかということと、住居としての役割だけでなく、もっと多様な役割を持たせられないかということの2点。
- ・県の若者が進学時、就職時に県外へ出てしまう状況を課題と考えており、学生生活を終わったらUターンしてほしいという思いがある。奈良県の良さ、すばらしさを東京で感じたり、学んだりできるように、例えば、東京奈良県人会や県から出向している中央省庁職員、県内企業の東京支店といった、奈良に関わる多様な大人、団体と交流ができるような場。
- ・例えば「SHIMOKITA COLLEGE（東京都世田谷区）」のような要素を盛り込んで、養徳学舎自体が非常に刺激豊かで色々な学びや発見を得られる場所。
- ・養徳学舎に集まる奈良県や日本の未来を背負った人材の更なる成長に貢献したいという思いで活用検討会を設けたので、委員の方々の自由闊達な意見交換をお願いする。

#### 【会長の選任】

植嶋平治氏を会長に選任

#### 【議事録等の作成】

会議の概要を作成することを決定

## 【会議の公開・非公開の別】

養徳学舎の現状説明までは公開とし、それ以降は非公開とすることを了承

## 2 議題

### 【養徳学舎の現状説明】

事務局より、第1回養徳学舎活用検討会資料に沿って説明

### 【活用に向けた意見聴取】

#### ① 奈良県との繋がりについて

- ・養徳学舎の学生と話した際に、イベントや企画をしたいが、予算がなくてできないというような話をしていた。例えば寮費を1,000円引き上げて自治会費としてイベント等の支援に活用できるようにすると、学生が奈良県への感謝の気持ちを感じやすくなる。
- ・奈良のコンテンツに関する仕事を通じて、奈良以外の方をどう喜ばせるか、良く思ってもらえるかについて考えていると、奈良のことを知らなければならなくなり、知れば知るほど奈良に戻りたくなると思う。
- ・「同じ釜の飯」は、連帯感を強くするためにも大切だと思う。
- ・卒寮後に、奈良県内で家業をついで会社を経営している者もいるが、経営者という立場で人を採用したいと思った時に、近いコミュニティから来てほしいという思いで卒寮生を採用したケースもあると聞いている。現役学生とOBが交流できるような仕組みを作れば交流も進むのではと思う。卒寮後19年経過し、周りのOBは6割ほど奈良に帰っている。
- ・これからはどこでも働けるし、どこでも住める社会になっていくと思う。その上で、奈良に興味を持つとか奈良に愛着を持つというものとセットにすることで、奈良に帰ってくるであったり、外の人を奈良に連れてくるであったり、逆に外の人へ奈良を普及するというような形ができて、結果的に奈良に関わることになれば良いのではないか。
- ・県人会も、奈良を懐かしむというだけの会でなく、新しいことをしていく会に姿を変えていかなければと考えており、養徳学舎との交流についても考えていきたい。
- ・奈良県出身の学生が急な経済的困窮に陥った場合、東京で頼れる場所があるのは重要かと思う。
- ・学生に東京に養徳学舎があるのだということを知ってもらうための周知方法を改めて確認することが大事。

## ②交流の機会の創出について

- ・スタートアップ企業は若い人との接点を求めている。一方で、スタートアップの側から寮を訪問したり、寮内にオフィスを設けたりすることは非現実的。一緒に住んでもらい、交流の場が生まれるように工夫すると良いと思う。
- ・関東の若者を奈良県に呼び込むために、県内の大学や企業と首都圏に住んでいる若者との交流の場として活用できないか。
- ・寮で将来について語りあったりすることで、相乗効果で新しいプロジェクトが生まれるのではないか。
- ・養徳学舎をもう少し開いた活用をすることで、寮生間のコミュニケーションだけでなく、色々な方々と交流の場にできれば良いのではないか。
- ・マーケティングで新商品の相談を受けたりもする。このような場合に若い人たちの意見が重要で、そういった接点でも活用できればと思う。
- ・外部の方々とのコミュニケーションを取る機会が限定的であるように感じる。

## ③女子の受け入れについて

- ・女子の受け入れは前向きに進めて欲しい。特にセキュリティ一面はよく考えた上で改修が必要。
- ・保護者のニーズは、男子学生と女子学生で違っており、女子学生の保護者の方は特に安心安全が一番大事にされている方が多いと思う。
- ・トイレとシャワーは男女で鍵を分けたり、ランドリーも男女で分けるなど、ハード面での工夫が必要。
- ・寮は小さな社会というように考えており、実社会に近い形にする方が良いので、フロアをジェンダーで分けるより、バラバラにできると良いのでは。ただし、運用面でのケアや学生に向けた研修やガイダンスとセットは必須。
- ・いくつかの県と合同で女子寮を作ることも考えられるのではないか。

## ④その他

- ・検討会の場に学生さん数名を招いて一緒にプロジェクトを考えていけないか。